

崩壊熱評価ワーキンググループ議事録

時 : 昭和50年12月11日(木) 13:30~17:30
所 : 原研本部第1会議室
出席者: 吉田, 飯島(NAIG), 松本, 田坂(原研), 端慶覧(PNC),
山本(日立), 中嶋(法大)

議 事

1. 一般的報告

- ・MAPIの定珠山氏が会社の事情により出席できないので、核構造データ・ファイルについての議論ができない。しかし数回にわたる小グループ会合による検討にもとづいて今年度予算でファイル作成をMAPIに依頼したので、了承願いたい。
- ・FP News letterに対する投稿について、このグループの進行中および計画中の作業を簡単にまとめて提出した。そのコピーを大竹氏が準備して配布することになっていたが、大竹氏が都合により出席できず今回は配布できなかった。

2. GRÖSS-Mによる計算の中間報告(吉田)

Q_{β} が5 MeVより大きいもの約20核種について、資料にもとづいて説明があった。半減期を合わせるパラメータを使うと、ベータおよびガンマのエネルギーは、かなりよく再現できる。もう少し検討すれば、かなりよい推定値が得られそうである。

3. 崩壊熱測定計画(松本)

原研リニアックでは $^{238}\text{U}(\gamma, f)$ の実値をHe-jet法によって行なうことを考えている。

京大炉(熊取)での予備実験、およびその後の計画についても紹介された。

4. 核分裂生成物の収率計算（山本）

資料にもとづいて詳しい説明があり，熱心な質疑討論が行なわれた。

計算コードを原研に移す件についても検討されたい。

5. 次回会合

1月下旬